第２期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する評価及び今後の対応

総括資料

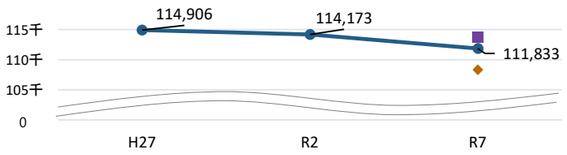
１　評価の位置付け

第２期総合戦略の当初計画期間である令和３～７年度の５年間を振り返る。

２　５年間の人口動態と評価

図１ 総人口と計画推計（人）

国勢調査（R7確報）・人口ビジョン推計



項目	人口	実績－推計
● 実績	111,833 人	－
◆ 第１期推計	108,310 人	＋3,523 人
■ 第２期推計	113,675 人	▲1,842 人

図２ ５年間の人口動態（人）

廿日市市 住民基本台帳人口・人口動態
R3～R7年の月次公表値を暦年(1.1~12.31)で集計

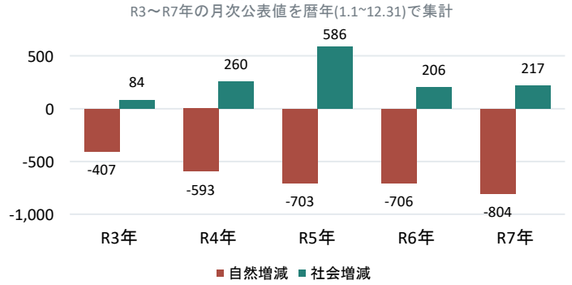


図３ 地域別人口の５年間の増減率

R2国勢調査→R7国勢調査（地域別・年齢別集計）

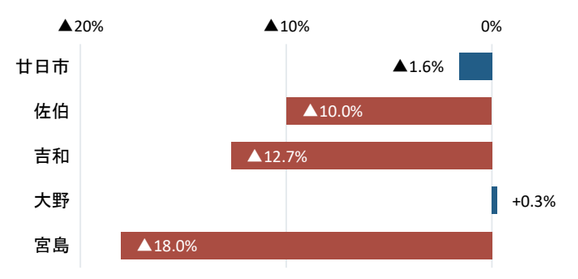
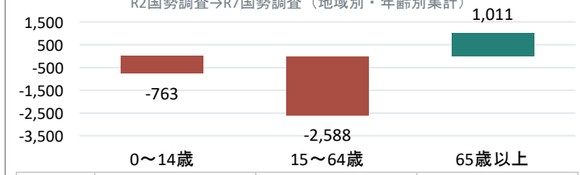


図４ 年齢別人口の５年間の増減（人）

R2国勢調査→R7国勢調査（地域別・年齢別集計）



	0～14歳	15～64歳	65歳以上
R2.10.1人口	14,941	64,104	35,128
R7.10.1人口	14,178	61,516	36,139
①年齢スライドによる増減	-5,177	-2,399	+7,576
②自然・社会増減	+4,414	-189	-6,565
差し引き ①+②	-763	-2,588	+1,011

【図１】R7 国勢調査人口は 111,833 人で、R2 比 2,340 人減（2.0%減）。R7 国勢調査人口は第１期独自推計 108,310 人を 3,523 人上回る一方、第２期独自推計 113,675 人を 1,842 人下回る。
【図２】社会増減では転入超過を維持している。（11 年連続）一方で自然増減においては減少幅（自然減）の拡大傾向が続いている。
【図３】地域別人口の５年間増減では、大野地域は増加し、その他４地域は人口が減少した。特に佐伯・吉和・宮島地域の減少率が大きい。
【図４】子ども（15 歳未満）は 763 人、生産年齢人口（15～64 歳）は 2,588 人減り、高齢者（65 歳以上）は 1,011 人増えた。若い世代の定着と担い手確保に加え、交通・福祉等の生活機能を地域ごとの人口構成に合わせて維持する必要がある。

３　第２期総合戦略の基本目標ごとの評価

第２期総合戦略に示す各基本目標の成果・課題を捉えるため、成果指標（KGI）及び主な施策指標（KPI）を評価する。

基本目標	指標	◎：目標値達成　○：現状値(R1)から改善　△：現状値(R1)と同数又は後退	評価	今後の対応
１ はつかいちの「産業」はニュースにあふれている！！！ ～そこ！に着目するはつかいち～	【KGI】 市内総生産	目標 4,000 億円 | 実績 3,946 億円（R5） ○	・KGI 市内総生産は基準値 3,539 億円（H29）から 407 億円増えたが、目標には 54 億円届かない。 ・施策２の KPI⑤観光消費額は目標値を 90 億円上回った。 ・施策３の KPI 法人市民税申告件数は目標水準を上回る一方、施策１の KPI 創業支援等事業計画を活用した市内創業者数は基準値(R1：101 人）を下回り、新事業の創出支援に課題が残る。	・起業の各ステージに応じた支援や事業承継の推進により地域経済の基盤を強化する。 ・観光による需要を市内の経済循環・雇用につなげるため、観光滞在時間の延長と消費額の増大や、市内周遊の拡大と産業連携を推進する。 ・観光・交流エリア（A エリア）及び工業エリア（B エリア）については、計画的に取組を推進していく。
	【KPI】 創業支援等事業計画を活用した創業者数	目標 110 人 | 実績 76 人（R7） △
	観光消費額	目標 310 億円 | 実績 400 億円（R7） ◎
	法人市民税申告件数	目標 2,615 件 | 実績 2,810 件（R7） ◎
２ 住みたくなる！ちょうどいいまち ～そこ！そこ！！のはつかいち～ 意外と知らない、魅力いっぱいのまち	【KGI】 人口の社会動態	目標 転入超過 | 実績 75 人転入超過（R7） ◎	・KGI 社会動態は目標の転入超過を維持しているが、転出数・転入数ともに減少し、全体として規模が縮小している。 ・施策１の KPI②20～40 歳代の転入者は基準値(R1：2,864 人)を下回り、施策２の KPI 定住意向も 79.3%(R1)から 4.4 ポイント低下。転入の継続と居住の継続を併せて支える必要がある。	・ターゲット層である若者にフォーカスし、就職・UIJ ターン、住まい、子育ての支援等を、ＳＮＳを始めとする効果的な媒体により情報発信する。 ・空き家バンクによる空家活用促進及び地域活力の維持・増進を図る。 ・市民参加型の「はつレポ隊」等、市民との共創を通じシビックプライドを深め中長期的な定住へとつなげる。
	【KPI】 ２０～４０歳代の転入者	目標 2,900 人 | 実績 2,286 人（R7） △
	現在の地域に住み続けたいと思う市民の割合	目標 80.0% | 実績 74.9%(R7) △
３ 子育て世代に選ばれ続ける「そこ！」が大事 子どもたち、みんな“はつかいちの子” ～みんなで子育て～	【KGI】 合計特殊出生率	目標 1.44 | 実績 1.26（R6） △	・KGI 0～14 歳の社会動態は転入超過で、施策１の KPI①この地域で子育てをしていきたい市民の割合も基準値 98.1%(R1)から改善し、目標値まで 0.3%となった。 ・一方、KGI 合計特殊出生率は基準値 1.41 を下回った。 ・KGI 夢・目標を持つ児童・生徒の割合は、R5 以降改善傾向であるが、小中とも基準値以下となっている。	・切れ目のない子育て支援と仕事との両立支援を進め、子育て世代に選ばれ続けるまちを目指す。 ・効果的な探究活動につながる支援を行い、子どもの多様な体験・学びや将来を考える機会を充実させる。 ・KPI「自分の良さは周りから認められていると回答した児童・生徒の割合」の目標値（75.0%）に対し、小中ともに 80%（R7）を超え目標を達成したが、引き続き学校が児童生徒にとってより安心して過ごせる場所を目指す。
	0～14 歳の社会動態	目標 転入超過 | 実績 138 人転入超過（R7） ◎
	夢・目標を持つ児童・生徒の割合 （小）	目標 89.0% | 実績 83.4%（R7） △
	（中）	目標 78.0% | 実績 67.7%（R7） △
	【KPI】 この地域で子育てをしていきたい市民の割合	目標 99.0% | 実績 98.7%（R7） ○
４ 「そこ！が好き」はつかいち ～はつかいちの心を育む～	【KGI】 まちへの愛着がある市民の割合	目標 80.0% | 実績 74.7%（R7） △	・施策１の KPI 小中学生の地域への愛着は目標水準を上回った。 ・一方、KGI 市民全体の愛着は基準値 78.4%(R1)から 3.7 ポイント低下している。転入者の増加も影響していると考えられる。 ・施策３の KPI④地域主体で地域課題の解決に取り組んでいると思う市民の割合においても基準値 15.8%(R1)から横ばい傾向にあり目標は未達である。	・防犯、医療体制の充実に資する取組により、市民の安心・安全を根底から支え、地域を素材とした学習を行うことで引き続き地域への愛着醸成を図る。 ・地域自治の仕組みを強化するため、地域内の合意形成、課題について有識者等から助言を得ることができるよう、相談会の開催等（アドバイザー活用）伴走支援を行う。
	【KPI】 地域が好きな児童・生徒の割合 （小）	目標 93.0% | 実績 95.3%（R7） ◎
	（中）	目標 86.0% | 実績 88.1%（R7） ◎
	地域主体で地域課題の解決に取り組んでいると思う市民の割合	目標 32.1% | 実績 15.3%（R7） △

４　総括

・産業面では市内総生産の改善と観光消費の回復が見られ、人口の社会動態では転入超過となっている。特に 0～10 歳代及び 30～40 歳代の転入超過が顕著であることから、子育て世代に選ばれていることが伺える。
・一方、20～25 歳代の転出入（173 人転出超過(R7)）、定住意向、出生率等の数値は改善の余地がある。
・人口減少の抑制と暮らしの持続性を両立するため、雇用と定住の連携、子育て支援、地域力の強化を第３期総合戦略の取組につなぐ。2045 年の人口展望 11 万人は長期の展望として今後も見据えていく。
・令和９年度からは第３期総合戦略の効果検証の中で、関連施策の取組と成果を継続的に把握していく。また、総合戦略の関連指標の実績を推進会議に報告し、必要な施策改善につなげる。